

一般質問

質問者

小新周小岡星石福井森庭福周西津布田河原寺笹中
 野田部野井田山山島藤牧久島井口井田
 滝井東田部野井田山山島藤牧久島井口井田
 芳連照淳信一郎利子雄彦大紀一彦乘人一始宣俊蔵
 江夫二二郎秀光泰享由賢雅秀博忠正重米
 (クラブ21) (愛・桐生) (公明クラブ) (愛・桐生) (クラブ21) (愛・桐生) (友和会) (愛・桐生) (クラブ21) (愛・桐生) (薫風会) (愛・桐生) (クラブ21) (友和会) (日本共産党) (愛・桐生) (クラブ21) (公明クラブ) (日本共産党) (日本共産党)

9月24日(水)・25日(木)・26日(金)の3日間にわたり、20人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

事務事業総合評価

小滝 芳江(クラブ21)

質問 どのような観点で評価に取り組んでいるか。(桐生市役所)



答弁 事務事業総合評価は、効率的、効果的な行政運営の観点から必要な事務事業を見極めることを目的とし、市では新生総合計画実施計画に位置付けられた約六百の事務事業を必要性・有効性・効率性・公平性の観点から評価し、各事業の目的や成果の検証および進行管理に活用している。

質問 第三者機関による評価導入の考えはあるか。
答弁 まずは内部評価を確実に実施した上で、次の段階として第三者機関による評価の導入を検討したい。

ふるさと納税

新井 達夫(愛・桐生)

質問 ふるさと納税制度に対する市の考えはどうか。
答弁 「ふるさとに貢献したい」「ふるさとを応援したい」という納税者の思いに答えることができるよう、万全の体制を整えなければならぬと考えている。

質問 これまでの取り組みと成果はどうか。
答弁 本年七月に「ふるさと桐生応援寄附金」制度を創設し、ホームページなどを通じて「自然保護や環境美化に関する取組」など六つの活用方法を示し、募集を行ってきた結果、これまでに八人から四十四万円の寄附をいただいている。



(桐生市の眺望)

ネーミングライツ事業

周東 照二(公明クラブ)

質問 桐生市のネーミングライツ導入状況はどうか。
答弁 現在、封筒への広告が決定しているが、施設では引き続き検討している。

質問 バス停留所において導入する考えはあるか。
答弁 兵庫県神戸市で導入されている「バス停留所ネーミングライツ制度」は、社名や店舗名が併記されることにより「バス停が分かりやすい」など、地域住民や利用者からの好評を得て



いるようである。桐生市でも広告収入だけでなく、利用者の利便性が高まる効果を期待できることから導入を検討したい。(おりひめバス停留所)

学校防犯

小野田 淳二(愛・桐生)

質問 仲町での刺殺事件の際に、近隣の小中学校ではどのように対応したか。
答弁 東小中学校では即刻保護者に連絡し、可能な限り出迎えを依頼するとともにパトロールや一斉下校を実施した。また、近隣の他の小中学校でも保護者への通知や一斉下校を実施した。

質問 警察との連携は。
答弁 日頃から連絡を密にし、情報収集やパトロール要請など連携に努めたい。



質問 今後の対応は。
答弁 日頃からの備えにより、事件発生時には警察、学校、地域と連携し、迅速に対応できるよう努めたい。(通学の様子)

観光施策の展開

岡部 信一郎(クラブE)

質問 観光を基幹産業の一つにしていく考えは。

答弁 観光という手法で産業を育てることは重要と認識している。

質問 観光を産業にしていこうという意図、目標、先行きをどう示すのか。

答弁 関係機関や民間団体と協議し具体的ビジョンを示せるよう努力したい。

質問 将来性と市場性について、経済規模、数値目標はどうか。

(桐生八木節まつり)



答弁 具体的な数値は持っていないが何らかの数値目標は必要と考え市場性や個々の観光資源を精査する中で研究していきたい。

おりひめバスの改革

星野 定利(愛・桐生)

質問 一川内線と梅田線について、それぞれ相老駅

(おりひめバス)



新桐生駅につながる」ことや、高津戸廻り、赤城駅行きのバスを走らせることのほか、全線が桐生駅北口に終結するのではなく、本町や市役所、厚生病院などに乗り換えなしで行くことを考えたライフラインバスにすることなどを提案する。また指定管理者制度を設け乗車率を考えた旧東武バス運行を基本にしてはどうか。

答弁 路線のあり方はおりひめバス運行事業検討委員会で検証している。また、現行の運行契約は指定管理者制度と同じ効果がある。

授業の充実と子育て財源

石井 秀子(友和舎)

質問 学力向上のため、授業をどう見直していくか。

(総合的な学習の時間)



答弁 PISA型読解力を踏まえた授業展開をどう位置づけていくか、また総合的な学習の時間において、各教科の知識・技能を活用する学習活動を問題解決や探究活動へどう発展させるかなど、今後も指導計画の見直しや授業改善に努めていきたい。

質問 在宅保育手当の取り組みと子育て支援のための財源確保をどう考えるか。

答弁 同手当については研究課題とし、今後とも子育て日本一をめざして財源確保に力を入れていきたい。

中通り大橋線の案内標識

福田 光雄(愛・桐生)

質問 国道五〇号から市街地への案内看板の設置予定(整備中の中通り大橋線)



定はどうか。

答弁 中通り大橋線と国道五〇号の交差点整備については、すでに国土交通省との協議が整っており、平成二十年度において、案内標識の設置を含めた交差点工事を実施する予定となっている。案内標識を設置する位置については、国道五〇号上の交差点から約五十メートルの地点に市街地へ誘導する案内標識を設置するとともに、交差点から約三百メートルの地点に予告標識を設置する予定となっている。

庁内行政評価委員会の設置

井田 泰彦(クラブD)

質問 どのように設置し、どう評価していくか。

答弁 現在、事務事業総合評価の評価票約六百件を精査し、二次的な評価を行っているが、今後、庁内行政評価委員会を早急に設置し、十月下旬までには最終的な評価結果を出したい。

質問 同委員会の概要などをホームページや広報紙等で公表する考えはあるか。

答弁 桐生市の行政評価は試行段階であることから、

(桐生市役所)



今後そのあり方を検討していく中で、可能であれば、委員会の概要やわかりやすく集約した評価結果を公表したいと考えている。

子育てクレームコンテスト

森山 亨大(愛・桐生)

質問 日本一の子育て都市を本気で目指すなら、まず、日本一早く「子育てクレームコンテスト」という形で、子育て世帯の市に対する不満の声を逆に資源に替え、子育て支援策に活用することこそが近道と考えるが、市の考えはどうか。

答弁 行政からの問いかけに回答してもらうアンケートと違い、ユニークな方法であり趣旨も理解できる。現在、「笑顔のふれあいト

ク」などにより市民の意見を聞いているが、子育て支援策の姿勢を示し市民に安心感を与えることも重要であり、もう少し検討したい。

(子育て支援課)



監査の公平性と行政責任

庭山 由紀（薫風会）

質問 ある団体の補助金関係書類紛失について、監



査当局はどう指導したのか。また、今後同様の事例の場合、対応はどうするのか。

回答 今回の事案について、当該団体及び当局に關係書類の保存など万全を期すよう指導した。今後は、

発生状況や内容などを見極め、ケースバイケースで対応せざるを得ないが、機会を捉えて指導していきたい。

質問 ケースバイケースの対応では、公平性に欠けるのではないのか。

回答 この問題を真摯に受け止め、さらにチェック体制をしっかりとりたい。

運動公園周辺道路整備

福島 賢一（愛・桐生）

質問 相撲道場協交差点は、上電ガードを挟んで混



雑が激しいが、県道側信号機と連動した信号機を設置できないか。また、プール脇市道の幅員狭小区間に、

歩道新設の考えはあるか。

回答 当該交差点に連動する信号機の設置は、桐生警察署や公安委員会などで協議した結果、どの経路を優先しても混雑するとの結論に至り、現状では難しい。また、市民プール脇市道の歩道新設については、駐車場側から継続事業として実施したい。なお、当該交差点の夜間用の蛍光化については、研究していきたい。

集中豪雨対策

周藤 雅彦（クラブE）

質問 雨水が道路上を勢いよく流れる場面を最近多



く目にする要因は何か。

回答 局地的集中豪雨の増加に加え、遊水地的効果のある田畑の減少により、一気に雨水が水路に流出することなどが原因と考える。

質問 民地からの土砂流出への対応はどうか。

回答 民地から民地へと流出した雨水が土砂流出を引き起こすような場所もあり、根本的解消は難しいと考える。緊急時には、土のうにより対応しているが、道路冠水の要因となる落葉やごみの除去など、日頃からの予防策が必要と考える。

両国橋の周辺整備

西牧 秀乗（友和会）

質問 旧両国橋脇の広場について、地元住民といかなる協議を行ったか。

回答 国が行う河川整備に伴い、広場への進入路付け替えやトイレ設置などについて、地元住民と協議し、調整を行った。トイレについては、今のところ要件が整わないために設置を見合わせるようになっていたが、

今後、要件が整えば設置できよう再度調整したい。



とはどのようなものか。

回答 河川敷にトイレを設置する場合、増水時にその都度撤去できる体制づくりが求められる。

（旧両国橋脇の広場）

国保滞納世帯への対応

津布久 博人（日本共産党）

質問 親の滞納により、納税義務のない子供九十人に資格証明書が交付されている現状をどう捉えるか。

回答 厳しい状況下で納税している世帯との均衡や法の遵守を前提にきめ細かな対応に努めているが、「子育て日本一」を目指す立場から、子供への被保険者証

交付については検討したい。

質問 交付申請により滞納世帯にも無条件に被保険者証が交付される自治体も

（納税相談）



あるが、桐生市ではどうか。

回答 「税負担の公平」の観点から、納税相談が前提と考えるが、中学生以下の子供への交付は検討したい。

認知症サポーター養成講座

田島 忠一（愛・桐生）

質問 認知症サポーター養成講座の実績はどうか。

回答 同講座は認知症の人とその家族を地域で支えるために国が推進している事業で、桐生市でも平成十八年度から公民館や集会所などで講座を開催し、八百九十人が受講している。現在は介護予防サポーター養成講座や出前講座の中にもメニューを設けている。

質問 認知症による徘徊への対策はどうか。

回答 徘徊高齢者探索システム助成事業により徘徊高齢者の早期発見と安全確保に役立てるなどの対策を実施している。

（認知症サポーター養成講座）



医療費助成

河原井 始（クラブ21）

質問 国保財政運営に係る現状と対策はどうか。

答弁 平成十九年度は大幅な税収減や医療費増などにより歳入歳出差引一億二千八百万円余りの赤字となった。既に国保税の按分率引き上げなどを実施したが、今後も収納率の向上や一般経費節減などに努力したい。

質問 平成十九年度の国保被保険者一人あたり医療費の年齢別状況はどうか。

答弁 七十歳未満約二十

四万円に対し、七十歳以上七十四歳未満で約四十四万円、七十五歳以上で約八十五万円と、七十歳を境に倍増する実態を示している。

（桐生厚生総合病院）



出産育児一時金

寺口 正宣（公明クラブ）

質問 産科医療補償制度導入に伴う政管健保などの出産育児一時金引き上げの動向をどう捉えているか。

答弁 医師の過失の有無を問わず妊娠・分娩の過程で脳性麻痺になった子供に補償金が支給される産科医療補償制度の施行が来年一月に予定されていることに伴い、政管健保などのお産育児一時金支給額を三万円引き上げる検討がされていることは承知している。

（離乳食講習）



質問 市の国保制度における対応はどうか。

答弁 国の制度を基本とし、その動向に連動させていく考えである。

小規模工事登録制度

笹井 重俊（日本共産党）

質問 制度の周知、広報はどのように行っているか。

答弁 平成十九年度に開始した同制度の周知は市のホームページを通じて行っているが、開始間もない制度で、登録件数も少ないことから、今後、広報きりゅうや商工会議所発刊の「商工だより」などへの掲載による周知も検討したい。

質問 同制度適用に係る契約金額の上限五十万円を法が規定する百三十万円に

まで上げる考えはあるか。

答弁 当面は現行制度を維持していく考えだが、状況の推移に応じて柔軟に対応したい。

（桐生市役所）



国保税の特別徴収

中田 米蔵（日本共産党）

質問 公的年金からの国保特別徴収が高齢者の生

（保険年金課）

存権に及ぼす影響をどのように考えるか。

答弁 今年十月からの特別徴収の開始は高齢者の税負担に影響を及ぼすものではなく、むしろ、その対象となる納税者にとって金融機関などに足を運び納税する手間がなくなるなどの利点があるものと考えられる。また、確実な納税が促進されることにより、相扶共済のしくみから成り立つ国保に加入する他の納税者の税負担増加の抑制や税徴収に係る行政コスト削減などの効果が生じるものと考えられる。

請願・陳情の審査結果

この定例会では、請願12件の審査を行い、その結果、3件は採択、3件は不採択、6件は閉会中の継続審査となりました。

また、陳情1件の審査もを行い、不採択となりました。

◎採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第15号	若年認知症対策に関する意見書提出の請願
	第17号	市立保育園民間移譲の行政責任を果たすことを求める請願
	第19号	消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める請願

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第13号	消費税の増税反対に関する請願
教育民生委員会	第16号	敬老祝い金の復活・充実を求める請願
	第18号	新たたせ健診の受診率を引き上げるため、受診機会の拡大を図る請願

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第10号	中国人強制連行・強制労働に対する救済施策を求める請願
	第11号	中国の平頂山事件被害者への謝罪を求める請願
	第12号	生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択についての請願
産業経済委員会	第5号	日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める請願
教育民生委員会	第6号	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願
	第14号	社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書採択についての請願

◎不採択となった陳情

受理番号第2号・・・天沼幼稚園を存続させる陳情